



切貫き細工につきて

藤五代策

切貫細工と云ふは鋏又は小刀にて紙を切貫きて子供の好きな器物の形や動植物の種々の形を切貫くことであります小學校の手工科教材中にも切貫細工と云ふが加へてありますが小學校的の切貫は幾何形躰を主として之れに種々の紋形などが加へてありますけれどもそれは余程高尚で四五歳位の子供にはとても分らないのみか少しも興味がありませんそこで幼稚園の子供には小學校的のものよりもすつと程度を下げて形はまづくても興味あるものを切貫かせたいのであります。

米國の小學校などでは切貫細工を圖書の一部に加へて居る様でありますが夫れは何故に手工の仕事と圖書と同一視して居るかと云ふに承知の通り圖書は鉛筆又は毛筆にて紙面に様々の形を描寫するのですが此の切貫細工は鉛筆又は毛筆に換ゆる

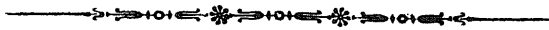
に鋏又は小刀を以てしたのと一ツは紙面に様々の形を描寫するのを切貫細工では全然其の形を切貫くのであるから圖書と切貫細工とは其の働か方が余程似て居るのでありますそこで切貫細工を圖書の一部に加へたものかと思はれます

次に切貫細工の用具と材料とにつきて申上げます先づ用具としては小形の唐鋏が必要であります之れは握り鋏でも用は濟みますけれども握鋏は使し難いのと其の手入れに困難しますから直段は少し高くなりませけれども唐鋏を用ひさしたいのであります

小刀には諸刃片刃など其用途に由て色々ありますけれども切貫細工には先づ小形の切出し小刀が最も便利であります此の小刀は鋏で切貫くことの出来ない處を截ち板の上にて切貫くに用ふるものであります

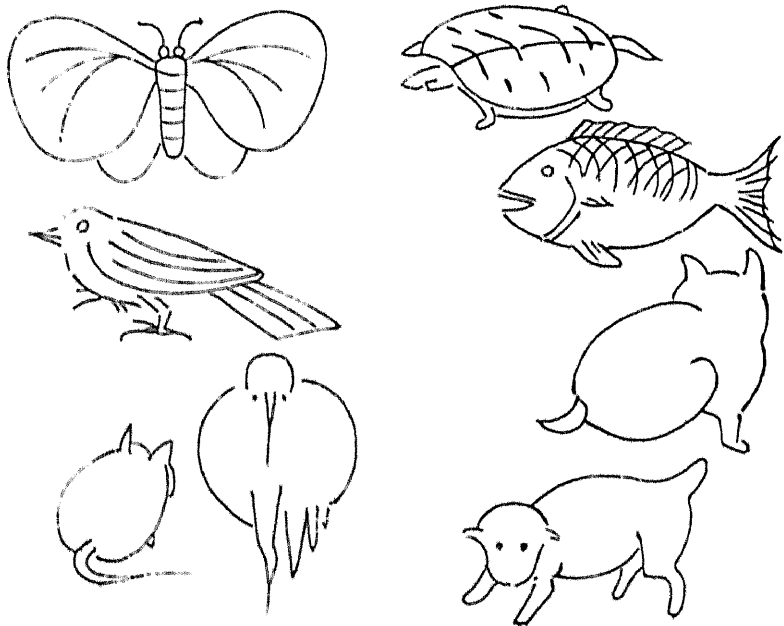
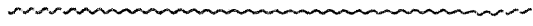
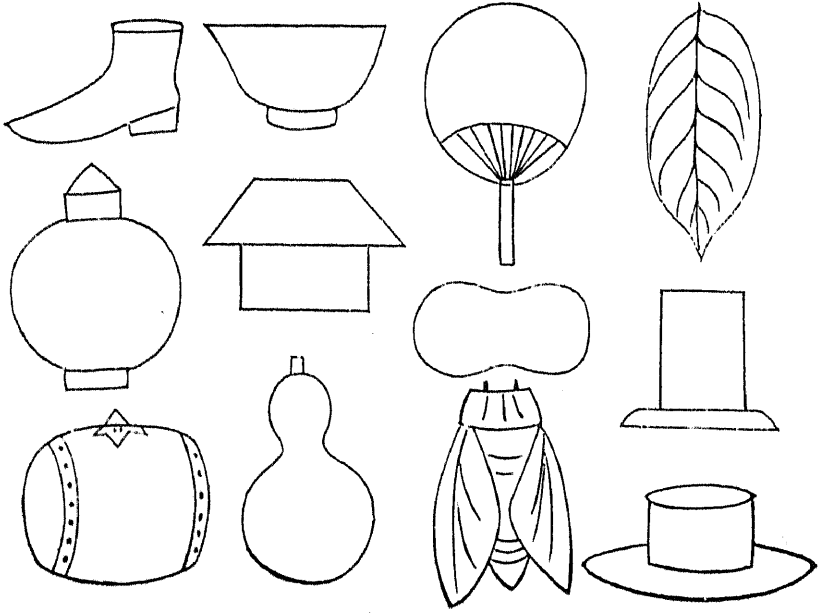
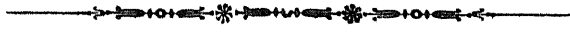
截板は朴か杏の様な軟かな材で年輪の凸起せないものが最適してをります長さ六寸幅四寸厚さ三分位の板ならば結構です

材料としては畫用紙を用ひますが余り薄き紙やホ



紙の様に厚い紙も困まるが此の書用紙ならば作業の上にも都合がよく鉄などの切れ味もよいから初歩の内は書用紙を用ひさせますが稍進歩しますと清帳紙や美濃紙を色染めた色紙を用ひさすのです。色紙を用ひますと形と同時に色の觀念が授けられ且美的の感が與へられますから子供は此の色紙を殊の外喜びます。臺紙は書用紙の稍厚いので結構であります。只に形を切貫いたのみでは何だか物足らぬ心地がせられ又皺が生じたり切れ離れたり或は紛失したりしますから其の切貫いた形は適當な臺紙に貼りつけますと一層面白く見えます。糊は生熟糊の極めて淡く練つたものが使用に便利であります。濃くすぎるとは貼り付けた後に臺紙を釣り屈める患もあれば皺のよることもあります。此の外に鉛筆と護謄とを持たしめて切貫く形の大鉢を畫かしめかくこともあり又は切り貫いた形に動物ならば目を描かしめ器物ならば必要の線丈け入れしむることがあります。次に作業の方法に付きてお話しします。

切貫くべき形は最簡短にして子供の常に目撃する併かも興味を以て迎ふる器物や動植物の形でなければならぬ。且又切貫くべき箇所は成るべく形の周邊を切り貫きて内部は極めて切貫かすにすむ様な形がよい之れと同時に其の形は一纏りになつてばらばらに切れ離れぬ者が望みたいのであります。斯く形の上に要求したならば其の要求の範圍内にて子供に種々の形をよく見させて形を正しく看取る習慣を養ふのです。次に其の形は如何に影に映ずるかを實驗するのであります。是れは極めて簡短の仕方です。先づ壁障子の如く立面に建てる者と燈火との間に器物を挟み其の蔭影の立面に映ずる處をよく觀察せしめ尙其の形を鉛筆にて寫すときは大鉢の形を得られますから直ちに之を切貫かすのであります。是れは最秩序ある方法であります。常に子供心に浮んだものを氣儘まに鉄にて切り貫かすのであるが多くの子供の内には中々巧みで大人でも及ばぬ様な成績を見ることがあります。斯く出来たものは臺紙に貼り付け尙鉛筆を用ふる個所あらば



隨意まかすに描かかすのでありませう
次に切貫きりぬかすべき形かたちの一般はんぱんを描かきませう